

IBM Storage Insights

IBM Cloudから提供される予測分析を使用してストレージ環境を最適化します。

ハイライト

- オンプレミスとクラウド・ストレージの管理をIBM Cloudで統合
- 予測分析を使用して、ストレージ・コストを削減できる洞察を獲得
- 先見的なサポート、サポート・チケットの発行、スピード解決を体験
- オンプレミス・ソリューションの先行投資と複雑さを回避
- 長期のコミットメントに縛られずに、柔軟に利用することが可能
- IBM Storage Insightsを無償で導入

データの価値は高くなっていますが、拡大するITの複雑さ、増大し続けるユーザーの要求、爆発的なデータの増加などが原因で、今日のストレージ環境では視覚的にわかりやすいとはいえません。多くのIT組織は、使用しているストレージ・インフラストラクチャーを真に理解していないために、十分な情報に基づいた意思決定が難しく、その結果、ストレージ・システムの使用率が50パーセント程度に留まっています。¹手動によるストレージ管理プロセスやモバイル、ソーシャル、分析、クラウドのITモデルの急速な導入によって、課題がより困難になっています。ストレージ・インフラストラクチャーの管理コストは、ストレージ容量の購入コストよりもはるかに高いため、組織には自身の環境を管理する新しい方法が必要です。

このニーズを満たすため、Storage Insightsは先進的な分析機能とこれまでに培ってきた豊富なストレージ管理の専門知識をクラウド・ベースで提供するモデルと組み合わせて、以下のことを実現します。

- ストレージ・アセットを正確に特定およびカテゴリー化
- アプリケーション、部門、サーバーのビューなど、ストレージ・コンシューマーの観点から容量とパフォーマンスを監視
- 成長メトリックの履歴を使って、容量予測の精度を向上
- 未使用ストレージを再利用して、追加購入の時期を遅らせ、使用率を向上
- 過去の使用パターンに基づいてデータ配置を最適化
- 自動的なログのアップロード、IBMサポートが利用できる診断データの向上により、ストレージの問題をより迅速に解決

これらの機能により、ストレージのパフォーマンスを強化しながら、ストレージ・コストを低減できます。このソリューションはクラウドをベースにしているため、実用的な洞察を数分で入手できます - 自社環境に関する情報がシステム内で蓄積されるにつれて、より深い洞察が生成されます。

Storage Insightsデータ・コレクターは、ご使用の環境の1台以上の仮想サーバーまたは物理サーバー上で稼働し、ストレージ・システムで収集済みのメトリックをまとめます。他の機能はすべて、IBMエキスパートが保守するIBM Cloud上で稼働します。ストレージ管理インフラストラクチャー保守にかかわるITワークロードは実質的になくなるので、ストレージ環境の最適化に集中できます。

必要時に短時間で結果を提供

Storage Insightsは、ほぼ即時に結果を出し、学習しながら追加の洞察を提供するように設計されています。

インストールには通常、30分しかかかりません。データ・コレクターをデータ・センター・サーバーまたは仮想マシン上にダウンロードしてインストールするだけです。コレクターはストレージ使用状況メトリックを収集し、ストレージ分析を実行するIBM Cloudに安全なチャンネル経由で転送します。

Storage Insightsはメトリック・データを使って洞察と推奨事項を迅速に返します。このような作業は、スプレッドシートで分析していたら数週間かかるでしょう。Storage Insightsは、オンプレミス・ソリューションの導入による前払費用や複雑さを招くことなく、データとストレージ環境について知る必要がある情報を提供できます。

先見的なサポートでストレージの可用性を改善

Storage Insightsは、「ベスト・プラクティス」違反を自動的に識別して、ストレージのオンライン状態を維持します。IBM Researchの自動的な環境分析と予測分析により、問題が発生する前に予防できるように支援します。Storage Insightsが収集した診断データを基に、IBMサポート・スタッフは、環境の回復力を改善するための先を見越した推奨を行うことができます。

サポートが必要な場合、Storage Insightsではチケットを新たに発行したり、既存のサポート・チケットのステータスを確認できます。自動的なログのアップロードによって、IBMへの診断データの提出が迅速化、簡素化されます。IBMサポート・スタッフは包括的な構成、容量、パフォーマンス診断などの情報にアクセスできるので、お客様の環境全体を明確に把握しています。これらの機能はすべて、問題が発生したら速やかに解決するために設計されています。



IBM Storage Insightsダッシュボードは、効率改善のための推奨事項を掘り下げ、注意が必要なシステムを即座に特定する機能を備えており、ストレージ環境全体を一日で確認できます。

環境間の即時可視化

Storage Insightsでは、サーバー、アプリケーション、ファイル・システムの観点からストレージのビューをすぐに表示できます。簡単な数ステップで、アプリケーションや部門のビュー(メール、SAP、リポジトリ・サイトのストレージなど)をセットアップ可能です。これらのビューにより、アプリケーションおよび部門によるストレージの使用状況、パフォーマンスの最適化とコスト節減の可能性についてレポートできます。

Storage Insights以前では、ツールから得られるのは通常、ストレージ・システムの使用状況のみの情報で、ストレージを消費する部門やアプリケーションによる使用状況に関する情報は得られませんでした。これからは、ストレージ環境全体の概要を知ることができます。正常なストレージや注意が必要になったシステムをすばやく識別できると同時に、容量やパフォーマンスの問題をアプリケーションの観点から容易に把握できます。マッピングされていないボリュームや未使用ボリュームを簡単に特定して再利用することも可能です。

簡単に実行できるパフォーマンス分析

ストレージ・システムやサーバーのデータの使用状況を分析することにより、Storage Insightsは学習します。また、データを収集するうちに、ソリューションは数時間でよりスマートになって、ユーザーに影響する可能性のあるパフォーマンスのホットスポットを特定します。それと同じくらい重要なのは、ストレージがパフォーマンス問題の原因ではないケースを特定できることです。

また、未使用のボリュームや使用率の低いボリュームも特定して、上層階のストレージの無駄になっている容量を、より要求の厳しいアプリケーション・データに解放できます。



IBM Storage Insightsは、使用可能容量とパフォーマンスを可視化し、憶測ではなく、事実に基づいたキャパシティー計画を実現します。

予測分析で実現するゆるぎない価値

IBM予測分析を使ってストレージ階層を最適化すると、ストレージの総コストを大幅に削減できます。これはIBMの自社実装環境での体験とお客様のフィードバックに基づいています。このテクノロジーにより、元の予測がどのような内容であっても、実際のデータ使用状況を基にして階層に関する推奨事項が作成されます。サービス・レベルに影響しないことが分かっているので、ストレージの上位層から中間層にデータを安心して移動できます。

上位層ストレージの総コストは実際には、初期コストよりはるかに高くなるので(ソフトウェア料金と保守料金はミッドレンジ・ストレージよりもかなり高額です)、大幅な節約を達成することができます。ほとんどのデータは作成後、大体すぐに利用されなくなります。Storage Insightsに組み込まれた予測分析は、上位層ストレージを必要としなくなったボリュームを特定します。

容量予測分析は、実際の使用状況のメトリックが分析されるので、時間が経つにつれて精度が上がります。Storage Insightsは、容量の使用状況、将来の容量のニーズ、ストレージの効率性を改善する可能性について視覚的な傾向分析を提供します。

Storage Insightsは最適な選択肢

IBM SANボリューム・コントローラー IBM FlashSystem およびStorwizeファミリーに接続されている場合、IBMストレージのすべてのユーザー、IBMおよびその他の450以上のストレージ・システムのすべてのユーザーに対して、ストレージ・インサイトを無料で使用可能です。

Storage Insights Proはサブスクリプションとして提供されるアップグレード版で、より詳細なレポート、より多くのパフォーマンスと容量のメトリック、より幅広いストレージ・サポートと長期履歴を利用できます。Storage Insights Proは、IBM Spectrum Virtualize for Public Cloud、

Dell-EMC VNX、VMAX、Unity、Unity XTのストレージ、HDS VSP G シリーズ、およびNetApp FASならびにAFFシステムによって管理されるクラウド・ストレージのサポートを追加します。これにより、お客様は、IBMまたはその他のストレージ(IBMその他、オンプレミス、クラウド)のストレージを1つのダッシュボードからすべてモニターすることができます。

Storage Insightsユーザーは、Storage Insights Proを30日間試用してから、アップグレードするかどうかを決定できます。

IBM研究所で実行されているストレージを使ったStorage Insightsのガイド付きライブ・デモを、ご使用のブラウザでいつでもお試しください。ソフトウェアのダウンロードや構成は不要です。どのような仕組みで機能するのか、ぜひご覧ください。

¹IBM Butterfly Softwareを使って生成した平均的な個々の顧客の分析エンジン・レポート

IBM Storage Insights at a glance

Supported storage environments	<ul style="list-style-type: none"> • Direct support for most IBM storage, including flash, file, object, software-defined, and block. • More than 500 storage systems from IBM and others, when attached to IBM SAN Volume Controller, and IBM FlashSystem and Storwize families. • Non-IBM storage: Dell-EMC VNX, VMAX, and Unity, NetApp FAS and AFF, Pure Storage FlashArray//X and M, and HDS VSP G Series systems (Storage Insights Pro only) • Cloud storage managed by IBM Spectrum Virtualize for Public Cloud (Storage Insights Pro only)
Block storage systems	IBM FlashSystem family, IBM Storwize family, IBM SAN Volume Controller, VersaStack, IBM XIV, IBM DS8000 family
File and object storage systems (Storage Insights Pro only)	IBM Cloud Object Storage System, IBM Spectrum Scale, IBM Elastic Storage Server, IBM Storwize V7000 Unified
Software-defined storage	IBM Spectrum Accelerate, IBM Spectrum Scale, IBM Spectrum Virtualize
Data security	
ISO 27001	The Information Security Management System supporting IBM Storage Insights has been ISO 27001 certified since November 2015
User data moved to the cloud	No user or application data is accessed
System data moved to the cloud	Usage and performance metrics, device names and IP addresses, storage device configuration
Cloud connectivity	Secure HTTPS channel
Cloud service	
Service provider	IBM Cloud
IPV6 support	Yes
License model	Monthly, based on capacity managed
Data collector requirements	
On-premises server requirements	Runs on virtual and physical machines: <ul style="list-style-type: none"> • Intel server running Microsoft Windows or Linux • IBM Power server running IBM AIX or Red Hat Enterprise Linux
Network	TCP/IP connectivity to all storage devices being managed, HTTPS connectivity to IBM Cloud

IBMをお勧めする理由

IBM Spectrum Storageファミリー製品であるStorage Insightsは、クラウド、分析、データ管理において市場をリードするIBMの機能を連携させます。IBMはストレージ・イノベーションの豊富な実績により、ストレージへの投資価値を最大化できるように支援します。分析とクラウドに戦略的なIBMの投資を組み合わせることで、IBM Spectrum Storageソリューションは、IBMプラットフォームのセキュリティーと信頼性を確立し、ストレージの最適化に関する推奨事項を自信を持ってお届けできます。

詳細情報

IBM Storage Insightsの詳細については、IBM担当員またはIBMビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、以下のWebサイトをご覧ください。 ibm.com/jp-ja/marketplace/analytics-driven-data-management

© Copyright IBM Corporation 2020.

IBM, the IBM logo, and ibm.com are trademarks of International Business Machines Corp., registered in many jurisdictions worldwide. Other product and service names might be trademarks of IBM or other companies. A current list of IBM trademarks is available on the Web at <https://www.ibm.com/legal/us/en/copytrade.shtml>, and select third party trademarks that might be referenced in this document is available at https://www.ibm.com/legal/us/en/copytrade.shtml#section_4.



Intel, Intel logo, Intel Inside, Intel Inside logo, Intel Centrino, Intel Centrino logo, Celeron, Intel Xeon, Intel SpeedStep, Itanium, and Pentium are trademarks or registered trademarks of Intel Corporation or its subsidiaries in the United States and other countries.

All statements regarding IBM's future direction and intent are subject to change or withdrawal without notice, and represent goals and objectives only.